

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

国際平和共生プログラム

（博士課程前期）

国際平和共生プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「修士（国際協力学）、修士（学術）」のいずれかの学位を授与する。

- (1) 公正・公平な社会の実現及び包摂性を持つ平和な社会の実現に貢献できる、平和学、文化人類学、政治学、法学、地域研究などを基盤として、複合的な平和の理解を持ち、関連する領域、あるいはそれらの融合領域における高度な専門的知識と研究能力を有している。
- (2) 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。
- (3) 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。
- (4) 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。
- (5) 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。

（博士課程後期）

国際平和共生プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「博士（国際協力学）、博士（学術）」のいずれかの学位を授与する。

- (1) 公正・公平な社会の実現及び包摂性を持つ平和な社会の実現に貢献できる、平和学、政治学、法学、文化人類学、地域研究などを基盤として、複合的な平和の理解を持ち、関連する領域、あるいはそれらの融合領域における卓越した専門的知識と研究能力を有している。
- (2) 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。
- (3) 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。
- (4) 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。
- (5) 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。